

平成23年9月
袋井市議会定例会
一般質問通告内容

袋井市議会

＝本会議インターネット放映のお知らせ＝

本会議の様子が、自宅のパソコンで見ることができます。
袋井市のホームページに接続し、袋井市議会のコンテンツの中に「袋井市議会のインターネット中継」があります。ホームページアドレスは、次のとおりです。

袋井市 <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp>

袋井市議会（インターネット中継）

<http://dvlsv.city.fukuroi.shizuoka.jp/view/2.html>

●傍聴者の皆様へ：携帯電話はマナーモードに切り替えをお願いします。

一般質問通告議員

9月13日（火）

【午前質問予定の議員】

ページ

1番	浅田二郎議員	……	1
2番	村松尚議員	……	2
3番	高橋美博議員	……	3

【午後質問予定の議員】

4番	寺井雄二議員	……	4
5番	大場正昭議員	……	5
6番	竹原和義議員	……	7

9月14日（水）

【午前質問予定の議員】

7番	寺田守議員	……	8
8番	沼上賢次議員	……	9
9番	廣岡英一議員	……	10

【午後質問予定の議員】

10番	山田貴子議員	……	11
11番	大庭通嘉議員	……	12
12番	芝田禮二議員	……	13

9月15日（木）

【午前質問予定の議員】

13番	兼子春治議員	……	14
14番	高木清隆議員	……	15

質問順序	1	議席番号	17	質問者	浅田二郎
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 国保の一部負担金減免について</p> <p>国民健康保険の一部負担金減免等の基準が制定され、10月1日より施行されようとしている。しかし、この基準はあまりにも低すぎる。</p> <p>(1) この基準で適用対象者はどの程度と考えられているか。</p> <p>(2) 「国の基準は最低限であり、上積みは望ましい」とする国の方向と異なるのではないか。</p> <p>(3) 先行する他市町村の例と比較し、低すぎるのではないか。</p> <p>(4) 民間の「無料低額診療」制度と比しても低すぎる。</p> <p>(5) 国保税減免基準との整合性もない。</p>					
<p>2 介護保険「総合事業」について</p> <p>改定介護保険法等は、切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」の実現の一つとして、「介護予防・日常生活支援総合事業」を、市町村の判断で創設できるようになった。</p> <p>(1) 市は、どのように対応をするのか。</p> <p>(2) サービスの質の低下と利用料の負担増はないか。</p> <p>(3) 利用者の意に反してサービスは取り上げられないか。</p> <p>(4) 財源が大きな壁とならないか。</p>					
<p>3 被扶養者介護保険料の税金控除について</p> <p>被扶養者の介護保険料が、「特別徴収」されるため、扶養者の税金控除の対象とならない。</p> <p>(1) 一般的に被扶養者の社会保険料が、扶養者の税金控除となるのではないか。</p> <p>(2) 介護保険料に「世帯」という要素が加味されている。</p> <p>(3) 徴収方法により税金控除による差があるのか。</p> <p>(4) 普通徴収への切りかえはできないのか。</p>					
<p>4 浅羽支所のあり方について</p> <p>南部地域の「核」である浅羽支所が、今後、どのような役割を果たしていくのか。</p> <p>(1) 歴史文化館・博物館的機能ゾーンとの関係から</p> <p>(2) 災害時の司令塔としての役目から</p> <p>(3) 法的・条例上の不備から</p>					

質問順序	2	議席番号	1	質問者	村 松 尚
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 袋井市の防災計画について</p> <p>東日本大震災を教訓にして、今後の市の防災の考え方を市民に伝えるために、どのように考えるか。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 津波の想定は、どのように考えるか。 (2) 津波避難の手段、障害者・子供等は、どのように考えるか。 (3) 津波避難場所等、具体的な計画・予算は、いつごろ住民に知らせるのか。 (4) 液状化による被害想定と対策（ライフラインの復旧等） (5) 浜岡原発に対する将来の不安に対し、市長の考えは。 (6) 風評による様々な影響に対する対策はどうか。 (7) 節電・エネルギー対策はどうか。 (8) 陸上自衛官OBの防災監への採用は、どのように考えるか。 					
<p>2 人口減少を考えたまちづくり</p> <p>人口減少は、地域社会に大きな変化をもたらすため、先取りしたまちづくりが必要と思うが。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市の直近1年間の人口推移は、どのようになっているか。 (2) 少子化対策は、どのような考え方で進めるか。 (3) 企業が少子化にどのような支援をしているのか。 (4) 将来のまちづくりの方向を、人口増から人口減への変化に対応して、方向性を考えているか。 (5) 市内の地域別の人口増減と高齢化率の違いによるまちづくりの対策はどうか。 					

質問順序	3	議席番号	18	質問者	高橋美博
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 土・砂利採取について</p> <p>土・砂利採取等は景観や防災の面、周辺環境など、様々な影響が考えられる。市の許認可手続きなど市の対応を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市内の土・砂利採取の状況はどうか。 (2) 市の許認可基準・手続きなどはどうなっているか。 (3) 制限地区指定・条例化など手続きの厳格化はどうか。 					
<p>2 パチンコ出店について</p> <p>市内に多く出店しており、景観上も、良好な市民生活を営む上でも、本市にふさわしくないと考える。現状の認識を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市内の出店数は周辺他市と比べてどうか。 (2) 市は現状をどう認識しているか。 (3) 出店規制と景観条例による規制はできないか。 (4) 業界からの市税はどのくらいあるのか。 (5) パチンコ依存症が社会問題となっている。市でも対処できないか。 					
<p>3 成年後見制度について</p> <p>高齢化やひとり暮らしの高齢者の増加などにより、成年後見制度や日常生活自立支援事業などの需要がふえている。本市での取り組みを伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市での利用状況はどうか。 (2) 運営する上での問題点はどうか。 (3) 改正介護保険法には市民後見人の要請と活用・推進が盛り込まれているが、本市は取り組む考えはないか。 					
<p>4 老人福祉センター白雲荘の利用について</p> <p>社会情勢の変化や風見の丘の開設など白雲荘を取り巻く環境が変化している。利用のあり方を見直すことも必要ではないか。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 風見の丘との連携をどう考えているか。 (2) 利用の多い電位治療器の設置をふやせないか。 (3) 各地区老人クラブの送迎は、市老連加盟の条件が見直されたが、その運用はどうか。 					

質問順序	4	議席番号	7	質問者	寺井 雄二
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 安全安心対策について</p> <p>愛野地域の防犯対策を推進するためには、交番を配備する事が早急の課題である。</p> <p>(1) エコパ周辺への防犯対策と地区住民との関わりは。</p> <p>(2) 安全安心のためJR愛野駅愛野交番を設けることが必要であるが、計画推進はあるのか伺う。</p> <p>安全安心なまちづくりには、暴力団排除を積極的に推進させ組事務所を設けさせない、また、反社会的勢力を排除させ、住みよいまちづくりを推進させることが必要（きめ細やかな対策）。</p> <p>(3) 袋井市暴力団排除条例を制定し、暴力団に利益を与える恐れのあるすべての事業からの暴力団を排除すべきと思うが、市としてどのようにとらえているのか伺います。</p> <p>職員が率先して防犯活動に取り組むことは犯罪の抑止につながる。</p> <p>(4) 袋井市職員自ら犯罪防止に取り組み、犯罪のないまちづくりに貢献すべきか伺います（公用車活用青パト隊）。</p>					
<p>2 浅羽支所機能について</p> <p>浅羽支所及び支所周辺の公共施設は、市民の健康・文化の交流拠点を形成する南部副次核と位置づけられている。</p> <p>(1) 各施設が機能的連携を図り、地域活動の中心的な役割を果たすべきであるが、どのように今後推進をされようとしているのか。</p> <p>(2) 市民サービス機能を充実するために、支援室等を設けることはできないか。</p> <p>(3) 玄関ホールを活用し、交流やにぎわいの機会を設けることができないか。</p>					
<p>3 ふるさと納税について</p> <p>ふるさとは遠くにおいて思うものであるが、創造性と多様性に富んだ豊かな地域づくりを進めるためにふるさと納税制度がスタートし、まちづくりが行われている。</p> <p>(1) 納税が伸びないが検証されているのか。</p> <p>(2) 今までの納税者の意向は生かされているのか。</p> <p>(3) ふるさと納税を伸ばすためのPRはどのようになされているのか。</p>					

質問順序	5	議席番号	10	質問者	大場正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
1 市総合計画後期5カ年のスタートについて					
<p>市総合計画は中長期的な我が市の運営の柱となるものである。今後の計画の進め方についての基本的な考え方が重要となる。</p> <p>(1) 平成22年度決算を終え、市総合計画前期計画5カ年の推進状況とその検証はどうか。取り組みの目的・基本方針など、達成具合はどうか。</p> <p>(2) 後期基本計画5カ年のスタートの状況と東日本大震災後、今後の計画推進への影響はどうか。財政運営の基本的な考え方に変わりはないか。また、財政見通しとの整合を図る上で、主要事業の見直しはどうか。</p>					
2 市政推進の具体的な施策について					
<p>地域活動への中老年、団塊の世代の参加促進と高速道路を活用した地域活性化の取り組みが大切である。</p> <p>(1) 高齢化が進展する中で、労働力の不足、就業率の低下への対応はどうか。中老年、団塊の世代を中心とする市民を活用することが、まちの活性化につながると思うがどうか。中老年層が活躍できる仕組みづくりの構築は。</p> <p>(2) 第二東名浜松浜北インター（浜北区中瀬）の開設に伴い、新たな土地利用、地域の振興を図る考えは。この機会を地域経済の活性化につなげることはどうか。</p>					
3 防災教育の充実について					
<p>予想される東海地震に備え、「自らの命は自ら守る 自らの地域は皆で守る」を基本とする市民の防災意識の高揚を図る。</p> <p>(1) 先日行われた「市総合防災訓練」の成果と課題は何か。また、今後の訓練はどのような形で行っていくのか。</p> <p>(2) 釜石市の児童・生徒の避難に学び、片田群馬大学教授の「避難3原則」について、どうとらえているか。市として、今後取り入れていく考えはあるか。</p> <p>(3) 同じく片田教授が取り組んできた「津波防災教育」について、まず子供を中心とした防災教育が一番重要と考えるが、どのようにされていくのか。</p> <p>(4) 古くから伝わる「津波てんでんこ」の意味を理解することなど、言い伝えを災害文化としても根づかせることも大切と思うがどうか。</p>					
4 転換期を迎えた地域公共交通について					
<p>マイカーへの依存や過疎化の進展により、生活に密着した公共交通サービスの低下や衰退が指摘されて久しい。高齢者などの交通弱者対策やマイカーの環境対策など、地域公共交通も転換期を迎えている。</p> <p>(1) 交通弱者がふえていると思われるが、我が市の実態はどうか。買い物難民といわれる方への宅配サービスなど、個人の実情に即した「ロスのない」、きめ細かな対応が必要と思うがどうか。</p>					

質問順序	5	議席番号	10	質問者	大場正昭
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>(2) 自主運行バスは、予算との費用対効果も限界・限定的になっていると考えるがどうか。また、その後の地域協働バスの現状と今後の展開は。</p> <p>(3) 予想される我が国の「交通基本法」の制定を受け、地域の暮らしと命を守る、市としての交通基本計画・全体計画の策定はどうか、その現状は。</p> <p>(4) 十分な財源や人材の確保も年々困難になってきている。地域住民と市が組織し、地域公共交通計画を策定していくことが望ましいと考えるがどうか。</p> <p>(5) 地域交通を活用した中心市街地の再生も大切なことである。コースの工夫、本数の増便などを図り、駅周辺のにぎわいの創出を期待するが、何が課題か。</p> <p>(6) 遠州三山を初めとする、市全域の地域資源の掘り起こしと活用を図りたい。それらのために、どのような施策を打っていかれるのか。</p> <p>(7) 震災により、人々は心のよりどころを求めている。「パワースポット」の発見、活用も大切だと考えるがどうか。</p>					

質問順序	6	議席番号	2	質問者	竹原和義
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 罹災証明書の発行について</p> <p>罹災証明書は、災害が発生した市町村の自治体が、被災した家屋の損傷を資産とした視点で判定し、被害の程度を認定するもので、生活再建などに関わる支援制度、義援金の受け取り・仮設住宅の申請、税金の減免など様々な申請を行う際に必要になる。判定は、全壊・半壊・一部損壊などで評価される。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 「罹災証明書」「応急危険度判定」「被災度区分判定」被災証明の取り扱いと被災者の各種権利行使手続きに乖離がある場合について伺う。 (2) 地震発災後の罹災証明書の発行の担当部署について伺う。 (3) 判定する職員は何名を想定し、終了期間は何日を予定しているのかについて伺う。 (4) 事前に罹災証明書、被災証明書の書式をリンクしておくことでのリスクの回避について伺う。 (5) 各種BCPガイドライン等で想定されていなかった事態と罹災証明書、被災証明書への対応について伺う。 					
<p>2 計画停電と震災対応について</p> <p>東日本大震災の影響で給食を取りやめたり、おかずのない給食を出したりする小中学校が首都圏や静岡県東部地区で相次いでいた。給食センターや食品工場が壊れたり、食材不足や計画停電の影響が大きかった。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 袋井市新学校給食センター厨房機器等選定プロポーザルコンペ審査結果について伺う。 (2) 計画停電となった場合の本市での給食センターの対応について伺う。 (3) 東海地震が発災して、本市の給食センターの機能は維持できるかについて伺う。 (4) 本市の給食センターでは、非常電源設備・非常給水設備は完備されているかについて伺う。 (5) 東海地震が発災してもすべての市民の炊飯は給食センターにて対応できるのかについて伺う。 (6) 東海地震発災後、給食センターの復旧予定時期について伺う。 (7) 給食センターが機能停止の場合、袋井市民の炊飯はどこに依頼するのかについて伺う。 					
<p>3 「総合特別区域法案」新・ものづくり特区について</p> <p>政府では新成長戦略「元気な日本」復活のシナリオ（平成22年6月18日閣議決定）に基づき、地域の責任ある戦略、民間の知恵と資金、国の施策の選択と集中の観点を最大限生かし、規制の特例措置や税制・財政・金融上の支援措置等をパッケージ化して実施する「総合特区制度」を創設しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域活性化総合特区の仮申請について伺う。 (2) 小笠山山麓開発に伴うメガソーラー構想も含めた「総合特区制度」について伺う。 					

質問順序	7	議席番号	6	質問者	寺田守
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 ふくろいの風景づくり計画</p> <p>景観形成の事業計画について</p> <p>(1) 当市の旧街道沿いには、常夜灯や道標などの歴史的資源が残っている。区画整理や道路拡幅で影響を受けているが、保存や継承をどのように考えているか。</p> <p>(2) 市文化協会が発行した「袋井市の名木・古木」（平成21年2月発行）の冊子には、既に市内の58本の重要樹木が掲載されている。景観重要樹木の指定方針（目標値、1カ所）の見直しも必要ではないか。</p> <p>(3) 景観形成事業は、観光振興策との関連も重要な要素である。観光の観点から情報の収集、施策への反映が必要と思うがどのように考えているか。</p> <p>(4) 当市を中心とする地域には、「とうもん(田面)」という当市の典型的な風景を表す言葉が残っている。言葉による景観の復活も意味深いと思うがどうか。</p>					
<p>2 原発事故</p> <p>原子力発電所の事故への対応について</p> <p>(1) 当市は磐田、焼津、藤枝市とともにEPZの範囲拡大を求める要望書を国・県・中部電力に提出したが、その後どのような回答があったか。今後の見通しはどうか。</p> <p>(2) 浜岡原子力発電所で事故が発生した場合の被害想定、またその対応マニュアルなど今後、中部電力に要求していく考えはあるか。</p> <p>(3) 当市の農作物への放射能汚染を心配する声が上がっているが、実態はどうであったか。市民への情報提供はどのようになされたか。また今後の対応はどうか。</p>					
<p>3 市庁舎の景観</p> <p>市本庁舎玄関前の景観とレイアウトについて</p> <p>(1) 市本庁舎玄関前の園庭の手入れは、行き届いていないことが多い。市の玄関でもあり、改善することはできないか。</p> <p>(2) 市本庁舎と北分庁舎をつなぐ通路は狭く、一体感のないものになっている。北分庁舎の利用率アップのためにも改善が必要と思うがどうか。</p>					

質問順序	8	議席番号	4	質問者	沼上賢次
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 防災対策について</p> <p>津波の猛威に対し、住民の災害への意識は大きく変わり、行政の管理体制、備えの充実が求められる。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 災害時に、迅速な行政サービスの提供に威力を発揮する「被災者支援システム」の導入について、認識と対応を伺う。 (2) 幼児・園児たちが、津波想定の中、避難訓練をされている。その現状をどう考えるか伺う。 (3) 子供たちの身の安全を確保するための避難タワー設置を最優先すべき。その対応を伺う。 (4) 公共学校施設（指定避難所）にある行政管理の防災倉庫には、現在、避難物資が十分確保されているのか伺う。 (5) 第4次被害想定を踏まえ、食料の備蓄の提供や防災用品の手配など、今後、避難物資等、その量をどう配備されるのか伺う。 (6) 防災に対する学校側と行政との事前協議が大事であるが、現状と今後、具体的にどう進められるのか伺う。 					
<p>2 防災教育について</p> <p>子供自身が災害の教育を学び、性格とその危険性を知り、災害時にとる行動を知識として身につけ、備えを万全とすることが重要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本市の小中学校での防災教育はどうか伺う。 (2) 「釜石の奇跡」津波防災教育の3原則を受けて、本市南部地域の小中学校における今後の津波防災教育について伺う。 (3) 本市の小中学校での救命講習の現状はどうか伺う。 (4) 本市でも中学生に救命講習／修了証／取得の取り組みについて伺う。 					
<p>3 子ども医療費助成制度拡充について</p> <p>子育て世帯の経済的負担を減らすことは、少子化対策の重要な施策であり、子供の健康増進に大きな役割を果たす。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 子供を安心して生み、育てやすい環境整備のために、子ども医療費助成の拡充をすべきと考える。ご見解を伺う。 					

質問順序	9	議席番号	3	質問者	廣岡英一
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 地域ブランド戦略について</p> <p>地域ブランドは、地域の商品や地域そのものの識別性を高め、消費者や市民との良質なコミュニケーションを促進する戦略であり、その事業化を望む。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) クラウンメロンの産地表示、認証制度などの検討状況は。 (2) これまでの特産品開発の成果、関連団体の連携は。 (3) 「どまん中袋井」など、既存ブランドへの考え方は。 (4) 地域ブランドの考え方、事業化の所管は。 (5) まちの将来像を「見える化」する地域ブランド戦略を。 					
<p>2 文化行政について</p> <p>11月、（仮称）歴史文化館が開設することによって、一帯は歴史文化に関する総合情報センターに位置づけられる。月見の里学遊館は次期指定管理者の選定の年であり、平成28年の袋井宿開設400周年祭に向けて実行委員会が発足する。</p> <p>いわば、今年度は新たな文化創造の年であり、文化行政の実態を確認する必要がある。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 文化度をアピールする事業は何か。 (2) 彫刻のあるまちづくり事業のその後は。 (3) 月見の里学遊館、メロープラザの館長の身分・職責は。 (4) 月見の里学遊館、メロープラザの自主事業の成果は。 (5) 歴史文化の総合情報センターや博物館的機能を果たす体制は。 (6) 文化振興基金の運用は。 (7) 文化度の把握、文化イノベーションの機運づくりは。 (8) 文化行政の使命とは。 					

質問順序	10	議席番号	5	質問者	山田貴子
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 防災対策</p> <p>東日本大震災の教訓を生かし、おこなっている地質対策を積極的に推進し、安全安心なまちづくりを求めます。</p> <p>(1) 袋井市の公共施設は、液状化について問題はないか（特に避難場所に指定されている施設）。</p> <p>(2) 一般建物への地盤調査（液状化に対応）に積極的に推進できないか。</p> <p>(3) 液状化ゾーニングマップで危険と指定された場所の地盤改良に、助成金制度を設けることができないか。</p>					
<p>2 新東名高速道路への対応について</p> <p>中日本高速道路が、新東名について、県内区間を来年GW前に開通させる方針を固めたが、袋井市の対応はいかがか。</p> <p>(1) 緊急時に日本の大動脈の輸送機能を保つ新東名高速で、森掛川インターに接続する道路整備を早急にやるべきではないか。</p> <p>(2) 新東名開通に伴い、市としての対応はどのようにしているか（流通等）。</p> <p>(3) 期成同盟会について 森町袋井インター通り線建設促進期成同盟の総会は書面決議のみですがいかがと思いますか。</p>					
<p>3 観光振興事業</p> <p>本市の魅力ある観光資源の掘り起こしや県内外への情報発信、観光客をふやすために特色ある活動を行うことが必要です。</p> <p>(1) 「ふくろい遠州の花火」を開催しての反省点は。</p> <p>(2) 袋井観光基本計画の経過は。</p> <p>(3) 特色ある活動として可睡斎護国塔をライトアップ計画ができないか。</p>					
<p>4 地域経済活性化について</p> <p>東日本大震災による過度な自粛ムードが追い打ちをかけ、景気好転に向け消費者の購買意欲を促すクーポン券事業を推進してください。</p> <p>(1) 市内で消費されるクーポン券で市内全域が潤っているのか。</p> <p>(2) 昨年は発行せず今年度発行するわけは。</p>					

質問順序	1 1	議席番号	2 1	質問者	大庭通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 パートナーシップについて</p> <p>袋井市では自治会や公民館運営を通じ、既にパートナーシップは充実している。さらに、労力も経費もかかる当該事業は見直すべきではないか。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) パートナーシップは計画どおり推進するのか。 (2) パートナーシップの実施目的及び地域の課題とは。 (3) 自治法にいう自治事務の業務範囲とは。 (4) 重複しない効率的な業務の推進をすべき。 (5) 業務のシンプル化と他団体との有機的連携を。 (6) 公民館運営委員会機能の評価（総括）と見直しを。 (7) 公民館への人員配置の基本的考え方と具体策は。 (8) 役員（自治会・連合会・公民館役員等）の業務軽減策は。 (9) 単位自治会の定義と自治会数及び交付基準は。 					
<p>2 どまん中事業について</p> <p>2016年、袋井宿駅制400年を記念して、市は準備したいとのことだが、具体的推進方針を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 2016年どまん中事業の市の基本方針は。 (2) 組織体制（準備・実行）、予算等具体的規模は。 (3) 2016年までの具体的スケジュールは。 (4) 2001年事業の具体的事業と予算及び執行額は。 (5) 2016年具体的事業（目玉事業等）について (6) 宿場町（新町・本町等）の空き家、空き地対策は。 (7) 川井「明治天皇駐蹕之所」の碑の移設について 					
<p>3 農地・水・環境保全向上対策事業について</p> <p>農地・水・環境保全向上対策事業が今年度で終了するが、市として単独でも継続していく考えがあるか。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 国、県の事業継続の可否は。 (2) 当該事業の袋井市における総括は。 (3) 農地、水保全管理支払いへの移行をどう見るか。 (4) 事業終了後、袋井市単独での事業支援をするか。 					

質問順序	1 2	議席番号	1 3	質問者	芝田 礼二
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 農業振興</p> <p>農業を取り巻く環境は大変厳しいものがある。何とか袋井市農業を維持向上させるには、現状の把握とその対応が求められている。</p> <p>(1) 土地改良区選出の委員が農業委員の会長に導かれてしまった事について、農業委員会の声をどう思うか。そして、職員人事について適切であったのかあわせて伺う。</p> <p>(2) 国本の計画を断念した責任をどう考えるのか伺う。</p> <p>(3) 農業振興ビジョンの早期見直しと新たな方向性を示すべきと考えるが、市長の考えは。</p> <p>(4) 本市基幹作物の数的把握と今後の袋井市農業の導きを伺う。</p> <p>(5) 6次産業化の推進と2年目に入る「ふくろい宣伝隊」のその進捗状況はどうか。</p>					
<p>2 東日本大震災支援事業について</p> <p>「被災地を応援する袋井市民の会」が発足して以来2カ月半が過ぎても会合が開かれず活動が見られない。今が大切な時と思うが。</p> <p>(1) 第1回で出された意見・提案・計画をどうされたのか伺う。</p> <p>ア 支援活動に必要な公的支援措置について</p> <p>イ 市のホームページの活用はされているのか。</p> <p>ウ 各団体から提出された支援案を提出団体とヒアリングをし、調整されたか。例えば被災地の子供を袋井の花火に招待する計画など。</p> <p>エ 復旧活動に携わった方々を花火に招待する計画に本会としてどのような支援が行われたか。</p> <p>オ 釜石市の名産品を袋井で販売するビジネス復興支援のフォローはどのようになっているのか。</p> <p>カ ボランティアを継続的に派遣する事業の実現はどのようになっているのか。</p> <p>キ 「被災地とのスポーツ」交流事業の計画はどうされたのか。</p> <p>(2) あの時決意された会長、袋井市長は、今後どのように会を運営し行動されようとしているのか伺う。</p>					

質問順序	13	議席番号	9	質問者	兼子春治
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 国本にぎわいまちづくり事業について</p> <p>国本にぎわいまちづくり事業について計画が断念されたが。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 市長として今回の結論をどのように受け止めているか。 (2) このような結論に至った原因は何か。責任はどこにあるか。 (3) 本事業に取り組む姿勢・意気込みに欠けていなかったか。 (4) 進め方の手順に誤りはなかったか。 (5) 平成25年にコンペを行い、平成30年に着手すると答弁した裏付け・根拠は。 (6) プロポーザルコンペを行わなかった理由は。 (7) 素々案におけるエリアは。また最終的な姿は。 (8) 今後、中東遠の中軸都市となるための施策は。 (9) 国本地区は、6次産業化施設等により、小規模な開発を進めるべきではないと考えるがどうか。 					
<p>2 地震対策について</p> <p>防災計画の見直しが行われるが。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 太田川のしゅんせつ土を利用した平成の命山について何か所必要か。面積・規模は。 (2) 国道150号線バイパスを第二の防潮堤とすることについて (3) 農業用ため池の堤防補強工事について (4) 崖地近接住宅の建築対策について (5) 廃棄物の放射能対策について 					
<p>3 交通安全対策について</p> <p>袋井警察署ができて交通事故件数を減らすため、交通安全啓発施設として</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 交通公園を設置したら。 (2) 各市の設置状況・利用状況・事故防止の効果は。 					

質問順序	14	議席番号	14	質問者	高木清隆
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					
<p>1 PFIについて</p> <p>厳しい財政状況の中、必要な社会資本整備・更新を行うためには、民間の資金や創意工夫を最大限活用することが必要である。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) PFI導入による効果と問題点について (2) PFI法が改正されたことによる行政の新たなメリットはあるか。 (3) 改正PFI法では賃貸住宅も対象となった。老朽化している公営住宅や公営住宅以外の賃貸住宅への導入の考えはあるか。 (4) 改正PFI法での事業展開が考えられる施設は何か。 					
<p>2 教育施設マネジメントについて</p> <p>市内教育施設における構造物の耐震化は終了した今、教育施設をどう生かしていくのか。戦略性を持って見直し、施設の維持運営管理を含めて柔軟に対応していくことが求められている。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 構造物耐震後の教育施設整備に求められるものとは何か。 (2) 施設管理運営に求められるマネジメントの視点をどう考えているか。 (3) 効率的な施設管理に取り組む視点をどう考えているのか。 (4) 公立学校施設マネジメント（NPM活用）システムの導入に取り組む考えはあるか。 (5) 袋井市教育施設整備10箇年計画の見直し状況について 					
<p>3 入札・契約制度について</p> <p>地域社会の存続に不可欠な建設業を評価するためには、一定の客観性・透明性があり、地域循環経済につながる入札・契約制度に取り組むことが必要。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 地域建設業の位置づけと認識について伺う。 (2) 市内建設業許可業者の規模と分布状況、災害時における実働能力の調査が必要と考えるが。 (3) 地域力保全型入札制度を導入する考えはあるか。 (4) 点検・維持補修・災害対応における共同受注、複数年契約に取り組む考えはあるか。 (5) 地域循環型経済の推進を図る上で、市の入札・契約制度を見直す考えはあるか。 					